

【普通作物】の【強風・大雨】対策について

<4月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

【早期水稻】（育苗・移植期～分けつ期）

（1）予想される被害状況

- ① 育苗ハウスの破損や苗の損傷等が発生する。
- ② 強風による茎葉の損傷が発生する。
- ③ 浸・冠水や土砂の流入が発生する。

（2）事前対策

- ① 強風での損傷や脱水症状の軽減のため、深水管理とする。
※但し、棚田等で畦畔崩壊の恐れのあるほ場は行わない。
- ② 浸・冠水しやすい水田では、溝切りや排水溝の整備を行う。

（3）事後対策

- ① 風が止むまで湛水状態を保つ。
- ② 浸・冠水したところでは、速やかに排水して新しい用水と入れ替える。
- ③ ほ場に飛散したゴミは、作業や機械に支障を及ぼすので早めに除去する。

【ムギ】（出穂期～成熟期）

- ① 湿害により生育不良となり、収量が低下する。
- ② 赤カビ病やうどんこ病等が発生しやすくなる。
- ③ 強風で茎葉の折損や倒伏が発生する。

（2）事前対策

- ① ほ場周囲及び畦間に排水溝を設置する。
- ② 赤カビ、うどんこ病等の防除を行う。

（3）事後対策

- ① 収穫時は赤カビなど被害粒の発生状況を確認し刈分けを行う。
- ② 赤カビは収穫後も多湿条件では発生するので、速やかに乾燥する。